

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------------|-----------|----|
| ○事業所名 | こども発達LABO.Proリハ 東古松 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年1月6日 ~ 2025年1月31日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 56 (回答者数) | 25 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年1月6日 ~ 2025年1月31日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11 (回答者数) | 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年3月22日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | お子様一人ひとりの個性や発達の特徴を大切に、それぞれに適した支援を行っていること。 | 一人ひとりの個性や発達特徴を分析するためにフォーマル・インフォーマルなアセスメントを行っている。それらのアセスメント結果をもとに統合解釈し、適した支援プログラムを立案している。また、学習スタイルや感覚特性に応じた構造化を個別に行っている。 | お子様一人ひとりに適した質の高いプログラムが提供できるように、支援プログラムの多様化を図っていく。そのために、ケースカンファレンス、定期的な研修・勉強会を実施していく。 |
| 2 | 保護者様への相談支援を大切に、毎利用時に保護者へのサポートを行っていること。 | 毎利用時に保護者様へのサポート時間を設けている。 | 保護者様にお子様の個性や特性を分かりやすく説明するために、アセスメントの見える化を行っていく。 |
| 3 | 専門職による専門的な支援を行っていること。 | 専門的なアセスメントをフォーマル・インフォーマルに行っている。また、アセスメント結果をもとに統合解釈し、専門的な支援プログラムを立案し提供している。 | 専門職の専門性の向上を図るために、ケースカンファレンスを定期的に行っていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--------------------|-----------------------------------|
| 1 | 支援プログラムが固定化されやすい。 | 担当制により視点が狭まりやす点。 | 定期的なケースカンファレンスの実施。 |
| 2 | 職員間の申し送り内容の質に差異がある。 | 申し送り方法が仕組み化されていない。 | 申し送り方法を仕組み化し、申し送り内容の質の均一化を図る。 |
| 3 | 書類業務に時間を要する。 | 書類業務の仕組み化が甘い。 | 書類業務の効率的な方法を文面化する。 AIの導入を検討する。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 とも発達LABO.Proリハ 東古松

公表日 2025年 3月 25日

利用児童数 56

回収数 25

| | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------------------------------|---|----|---------------|-----|-------|--|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 15 | 9 | 1 | 0 | ・特性がある子が対象なので、もう少し広くても良いかなと ・今はちょうどいいが、子どもが成長したら狭いと思う ・少し狭いかなと思います ・子どもがのびのび運動できている | ご意見ありがとうございます。少しでも広いスペースでご利用いただけるように、室内環境の見直しを検討したいと思います。また、限られたスペースで満足のいく活動が提供できるようにプログラムの工夫を行っています。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 24 | 1 | 0 | 0 | ・1人に対して2人ついていたが、安全の確保を意識してくださっていると感じます ・2人体制でみてくださりありがたいです ・安全に配慮されて、安心できる ・子供ひとりに対して先生が二人ついているので安心です | ありがとうございます。引き続き、2人体制で支援させていただきます。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 21 | 1 | 0 | 2 | ・気が散らないような工夫ができています | ありがとうございます。活動や課題に取り組みやすいように、環境設定に引き続き努めてまいります。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 24 | 1 | 0 | 0 | ・掃除が行き届いており綺麗だと思う | ありがとうございます。引き続き、日々の清掃に努めてまいります。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 21 | 2 | 0 | 2 | ・少し不安です。このままでいいのか、発語出るかなと不安です ・プログラムの進め方によっては問題ないのかもよけれど部屋が狭いとは思いますが ・子供の特性を理解してくれているが、成長につなげているかは分からない ・本人の特性を考えて運動メニューを毎回考えてくださっている ・家庭での話もよく聞いて下さり、困っていることや気になることに対して内容を考えてくださってありがたいです ・新人の先生が担当されると不安がありました。しかし他の先生と連携してプログラム組まれてるのとことごとく信頼しておまかせしています | ご意見ありがとうございます。アセスメント内容・結果に対する支援の方向性について、より深く保護者様とすり合わせを行うように努めてまいります。支援の効果が見える化できるように、フォーマルアセスメントをより取り入れていきたいと思っております。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 20 | 3 | 0 | 2 | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 18 | 4 | 0 | 3 | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 22 | 2 | 0 | 1 | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 21 | 1 | 0 | 3 | ・目標に向けてプランが組まれている | ありがとうございます。引き続き、具体的な目標設定を行い支援に努めてまいります。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 21 | 3 | 0 | 1 | | |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 8 | 3 | 8 | 6 | ・なかなか現実問題難しいと思います ・既に幼稚園に通っているため、施設を通じた交流は必要としません | ご意見ありがとうございます。今後、検討してまいります。 |
| 保 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 24 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 23 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 8 | 7 | 1 | 9 | ・ペアレントトレーニングと名は打っていません ・丁寧な評価や課題を教えてくださいとお願いしています | ありがとうございます。今後、事業所での研修を開催できるように計画を立てていきたいと思っております。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。 | 24 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 20 | 4 | 0 | 1 | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|----|---|--|
| 護者への説明等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 24 | 1 | 0 | 0 | ・先生方が、とても前向きな声かけをしてくださるので、子供は励まされて楽しく通えていると思います | ありがとうございます。引き続き、共感的な姿勢で支援に努めてまいります。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 2 | 5 | 7 | 11 | | |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 18 | 4 | 0 | 3 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 24 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 9 | 5 | 1 | 10 | ・インスタなどをもっと更新してほしい。どんな療育を他の子はしているのか知りたい | ご意見ありがとうございます。Instagramを通して療育の様子を知っていただきたいので、更新頻度について検討していきます。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 20 | 1 | 0 | 4 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 11 | 4 | 2 | 8 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 4 | 3 | 3 | 15 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 16 | 6 | 0 | 3 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 13 | 5 | 0 | 7 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 24 | 1 | 0 | 0 | ・先生方を信頼し、安心できている ・〇〇先生、今日はいるかな？と気にしたり、先生のごことが好きだと言っていました | ありがとうございます。引き続き、安心してご利用いただけるように努めてまいります。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 23 | 1 | 0 | 1 | ・毎回早く行こう！と楽しみにしています ・いつも通所の曜日を楽しみにしています | ありがとうございます。引き続き、楽しみな気持ちでご利用いただけるように努めてまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 24 | 1 | 0 | 0 | ・もっと発語を促したいです。このまま変わらない流れだと心配です。もう少し先はどんな療育を進めていくのか具体的に知りたい。 ・親自身も先生の話をおきいて納得したり勉強になることも多く、満足しています | ご意見ありがとうございます。アセスメントの内容や支援の方向性について、より詳しく保護者様へすり合わせができるように努めてまいります。 |

| | |
|----|---------------|
| 公表 | 事業所における自己評価結果 |
|----|---------------|

| | | | |
|------|---------------------|-----|--------------|
| 事業所名 | こども発達LABO.Proリハ 東古松 | 公表日 | 2025年 3月 25日 |
|------|---------------------|-----|--------------|

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---------|----|--|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 同時間の利用児さんとの計画を共有している ・ 1人の利用児が机上活動を行う場合は、事前にその時間帯を共有し、もう1人の利用児はスペースを広く使う活動を提供するように努めている ・ 限られたスペースで行える活動を考えている。スペースを広く使用するためにスタッフと密に連携している | 支援プログラムの内容によって使用するスペースが異なる。そのため、2人のご利用者が同時間帯に利用の場合は、互いにスペースが有効に使用できるように、職員間で情報共有・連携を行うことに努めていく。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 8 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフと密な連携 | 職員の配置数は適切である。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣が気になるお子さんに対してポールとシートでパーテーションをしているが、天井にカーテンレールをつけてはどうか ・ 構造化の実施 | ご利用時の特性に応じて物理的な構造化を行っているが、効率よく準備ができるようにカーテンレールを取り付けるなどの室内環境の整備を検討したいと思う。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | 0 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | 0 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 7 | 1 | 書類作成が勤務時間内に終わらないことがあるが、助けを求めるとかあきらめて帰宅するようにしている | 効率よく書類業務が行えるようにAIの導入を検討していく。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 2 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員ができるが良い ・ 職員が痛みやすい、辞めやすい。できる人が報われていない気がする | 職員一人ひとりに定期的に個別面談を行っていく。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 5 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修を受ける時間がない、皆、業務に追われていて余裕がない印象。 | 法令研修は計画的に受けることができている。しかし、知識や技術を研鑽する研修時間を設ける機会が少ない。職員が隙間時間に研修が受けられるように動画配信を検討していく。 |
| 適切な | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々勉強、気になったことをそのままにしないよう気をつけている | 支援プログラムの作成・公表を行っている。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援計画をじっくり考えて作る余裕がほしい。 | 支援計画書が効率よく作成できるようにAIの導入を検討していく。 |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | 1 | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | 1 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 3 | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | 0 | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|---|--|---|
| 支援の提供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 1 | ・意見を求めたり項目ごとに任せたりしている ・職種を問わず意見を聞き、利用児に関わる職員全員がより良いプログラムとなるよう参加している | 職員間で話し合いプログラムの立案を行っている。定期的にケースカンファレンスを行っているため、次年度も引き続きケースカンファレンスを行い、質の高いプログラムを立案していく。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | 0 | ・インスタやYouTubeから活動のバリエーションを増やすための情報収集 | 根拠に基づいたプログラムを提供するために、定期的なアセスメントを行う仕組みづくりを行っている。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | 4 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | 0 | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 3 | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | 0 | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 1 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | 1 | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 8 | 0 | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | 1 | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 5 | 3 | | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) | | | | |
| | | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | | | | |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 2 | 6 | | |
| 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 3 | 5 | | | |
| 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | 0 | | | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2 | 6 | | | |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | 0 | | | |
| | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|---------------------------|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 8 | 0 | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | 0 | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 6 | | |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 1 | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 2 | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | 0 | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | 0 | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 6 | | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | 1 | | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | 1 | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | 1 | | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 3 | ・事業所内でおやつなど提供する機会がない | 食物アレルギーだけでなく、利用時が抱えているアレルギーを情報収集する仕組みを構築している。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 1 | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | 3 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | 0 | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | 0 | ・不適切保育について学ぶ機会がもう少し増えると良い | 虐待防止の研修は実施している。職員の要望に応じた内容も踏まえた研修も実施していく。 |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 7 | 1 | | | |